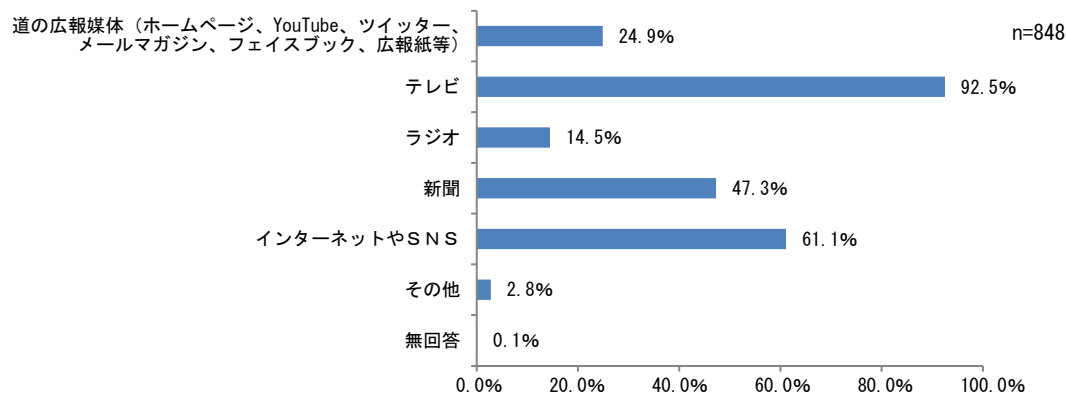


Ⅰ 新型コロナウイルス感染症について

問Ⅰ 新型コロナウイルス感染症に関して、どのような方法で情報を収集していますか。
次の中からいくつでもお選びください。



【全体】

「テレビ」(92.5%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「インターネットやSNS」(61.1%)、「新聞」(47.3%)の順となっている。

【圏域別】

「テレビ」については、十勝連携地域(94.4%)が最も割合が高く、次いでオホーツク連携地域(93.0%)となっている。「インターネットやSNS」については、道北連携地域(69.9%)が最も割合が高く、次いでオホーツク連携地域(62.8%)となっている。

【人口規模別】

「テレビ」については、町村部(95.3%)が最も割合が高く、次いで人口10万人以上の市(93.3%)となっている。「インターネットやSNS」については、人口10万人未満の市(62.8%)が最も割合が高く、次いで札幌市(61.6%)となっている。

【性別】

「テレビ」については、男性91.4%、女性93.6%となっており、「インターネットやSNS」については、男性59.7%、女性61.8%となっている。

【年代別】

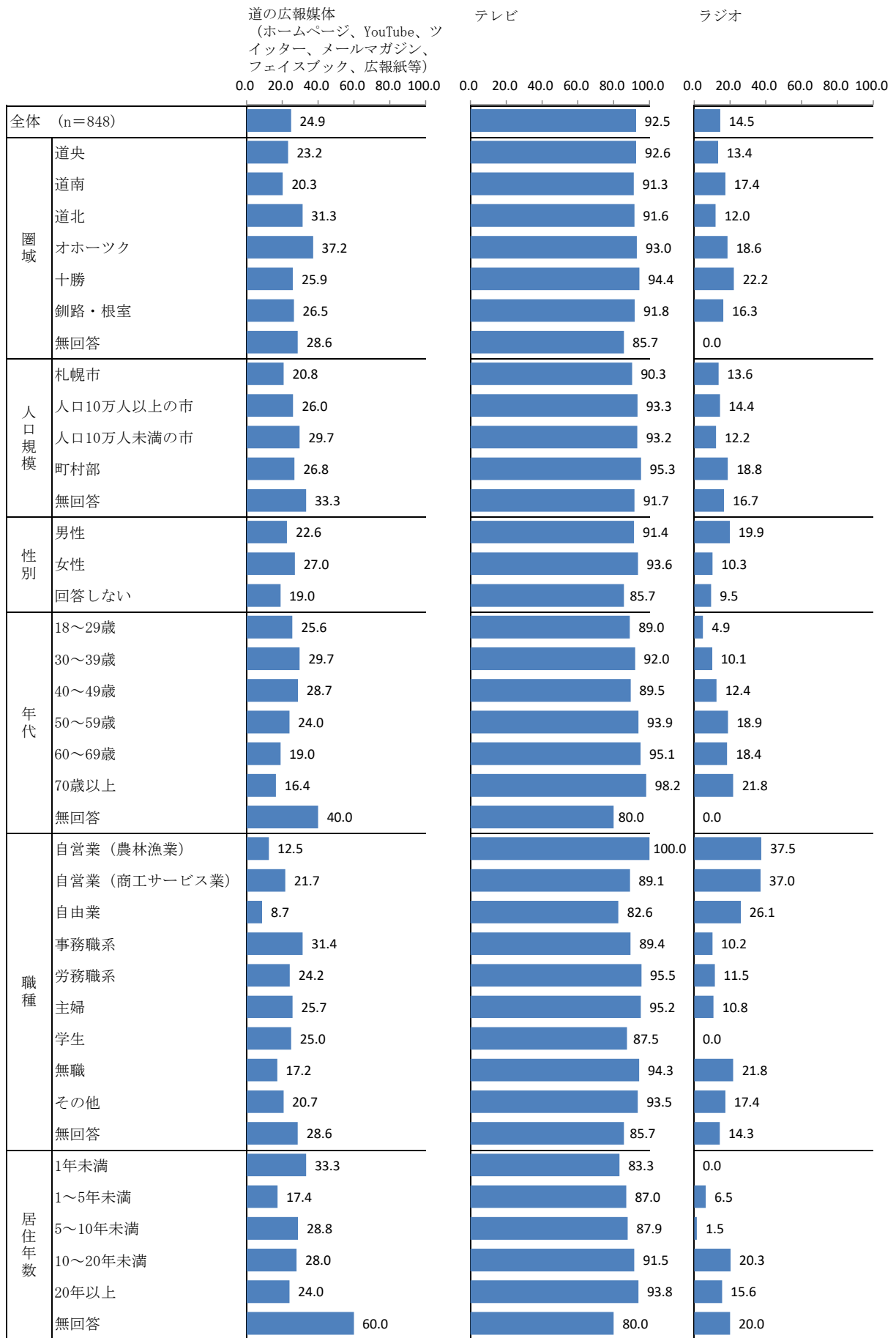
「テレビ」については、70歳以上(98.2%)が最も割合が高く、次いで60～69歳(95.1%)となっている。「インターネットやSNS」については、18～29歳(82.9%)が最も割合が高く、次いで30～39歳(76.1%)となっている。

【職種別】

「テレビ」については、労務職系(95.5%)が最も割合が高く、次いで主婦(95.2%)となっている。「インターネットやSNS」については、事務職系(78.4%)が最も割合が高く、次いで学生(75.0%)となっている。

【居住年数別】

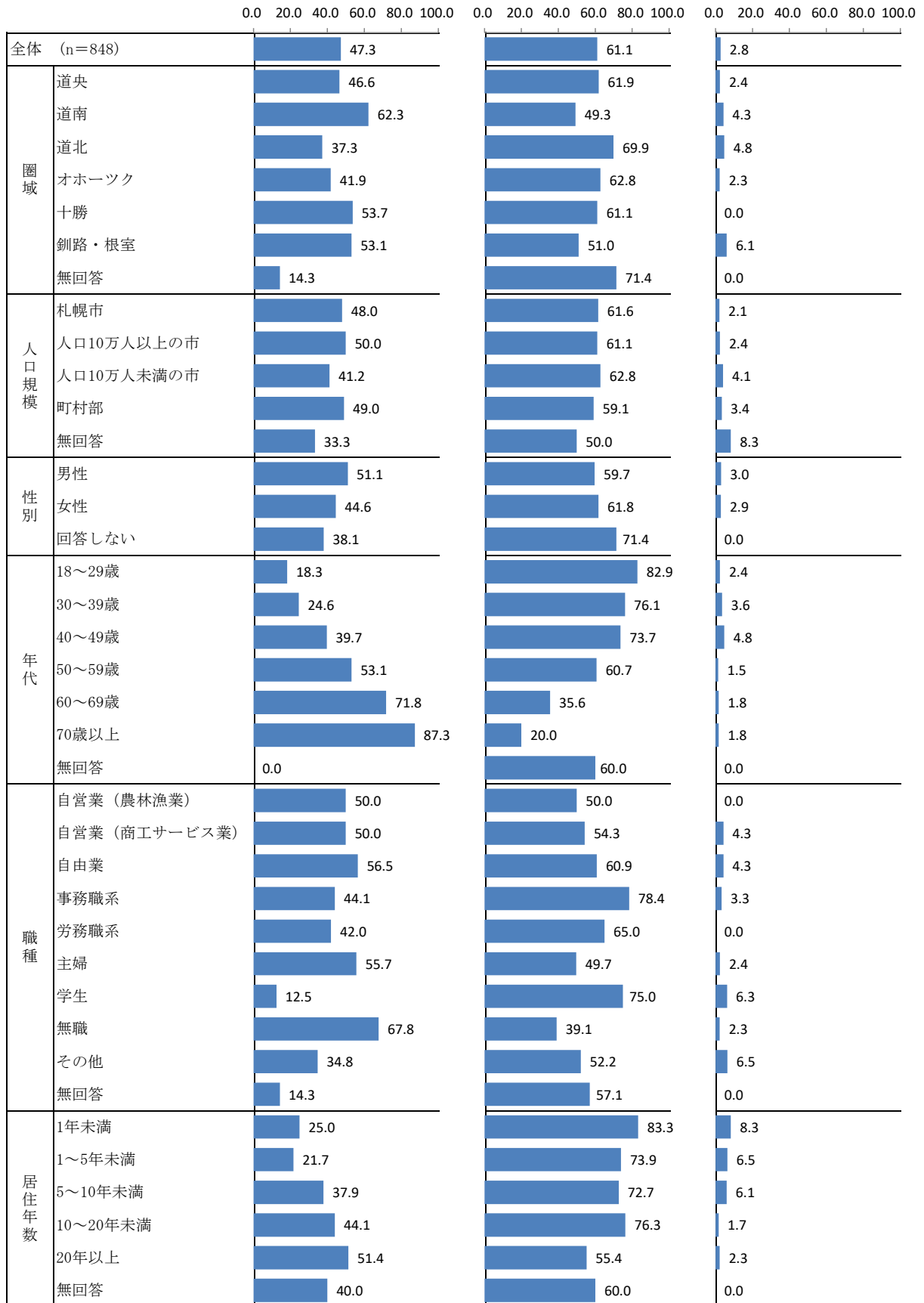
「テレビ」については、20年以上(93.8%)が最も割合が高く、次いで10～20年未満(91.5%)となっている。「インターネットやSNS」については、1年未満(83.3%)が最も割合が高く、次いで10～20年未満(76.3%)となっている。



新聞

インターネットやSNS

その他



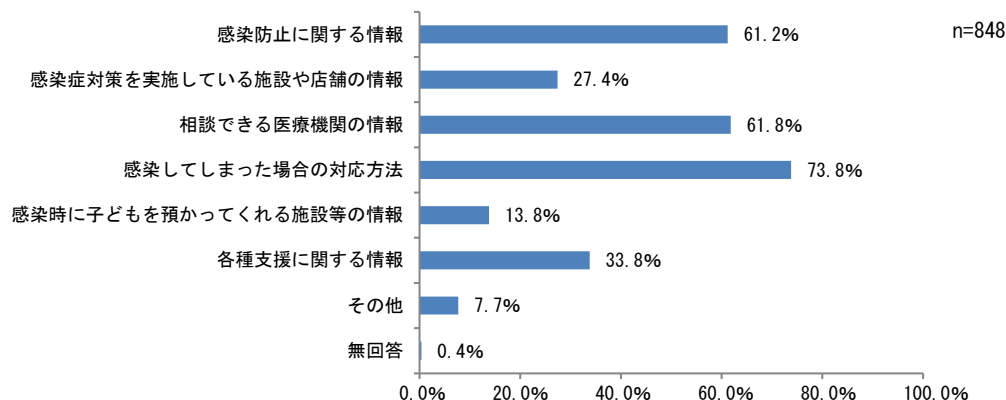
無回答

0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0

全体 (n=848)		0.1
圏域	道央	0.0
	道南	0.0
	道北	0.0
	オホーツク	0.0
	十勝	0.0
	釧路・根室	0.0
	無回答	14.3
	人口規模	札幌市
人口10万人以上の市		0.0
人口10万人未満の市		0.0
町村部		0.0
無回答		8.3
性別	男性	0.0
	女性	0.0
	回答しない	4.8
年代	18～29歳	0.0
	30～39歳	0.0
	40～49歳	0.0
	50～59歳	0.0
	60～69歳	0.0
	70歳以上	0.0
	無回答	20.0
職種	自営業（農林漁業）	0.0
	自営業（商工サービス業）	0.0
	自由業	0.0
	事務職系	0.0
	労務職系	0.0
	主婦	0.0
	学生	0.0
	無職	0.0
	その他	0.0
	無回答	14.3
	居住年数	1年未満
1～5年未満		0.0
5～10年未満		0.0
10～20年未満		0.0
20年以上		0.0
無回答		20.0

問2 新型コロナウイルス感染症に関して、どのような情報を必要としていますか。

次の中からいくつでもお選びください。



【全体】

「感染してしまった場合の対応方法」(73.8%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「相談できる医療機関の情報」(61.8%)、「感染防止に関する情報」(61.2%)の順となっている。

【圏域別】

「感染してしまった場合の対応方法」については、十勝連携地域(81.5%)が最も割合が高く、次いで道南連携地域(75.4%)となっている。「相談できる医療機関の情報」については、道南連携地域(66.7%)が最も割合が高く、次いで釧路・根室連携地域(63.3%)となっている。

【人口規模別】

「感染してしまった場合の対応方法」については、町村部(79.2%)が最も割合が高く、次いで人口10万人未満の市(74.3%)となっている。「相談できる医療機関の情報」については、町村部(65.1%)が最も割合が高く、次いで札幌市(64.7%)となっている。

【性別】

「感染してしまった場合の対応方法」については、男性72.6%、女性74.9%となっており、「相談できる医療機関の情報」については、男性60.5%、女性63.1%となっている。

【年代別】

「感染してしまった場合の対応方法」については、50～59歳(79.1%)が最も割合が高く、次いで70歳以上(76.4%)となっている。「相談できる医療機関の情報」については、70歳以上(83.6%)が最も割合が高く、次いで50～59歳と60～69歳が同率(66.3%)となっている。

【職種別】

「感染してしまった場合の対応方法」については、労務職系(78.3%)が最も割合が高く、次いで自営業(商工サービス業)とその他(76.1%)が同率となっている。「相談できる医療機関の情報」については、学生(75.0%)が最も割合が高く、次いで自営業(商工サービス業)(71.7%)となっ

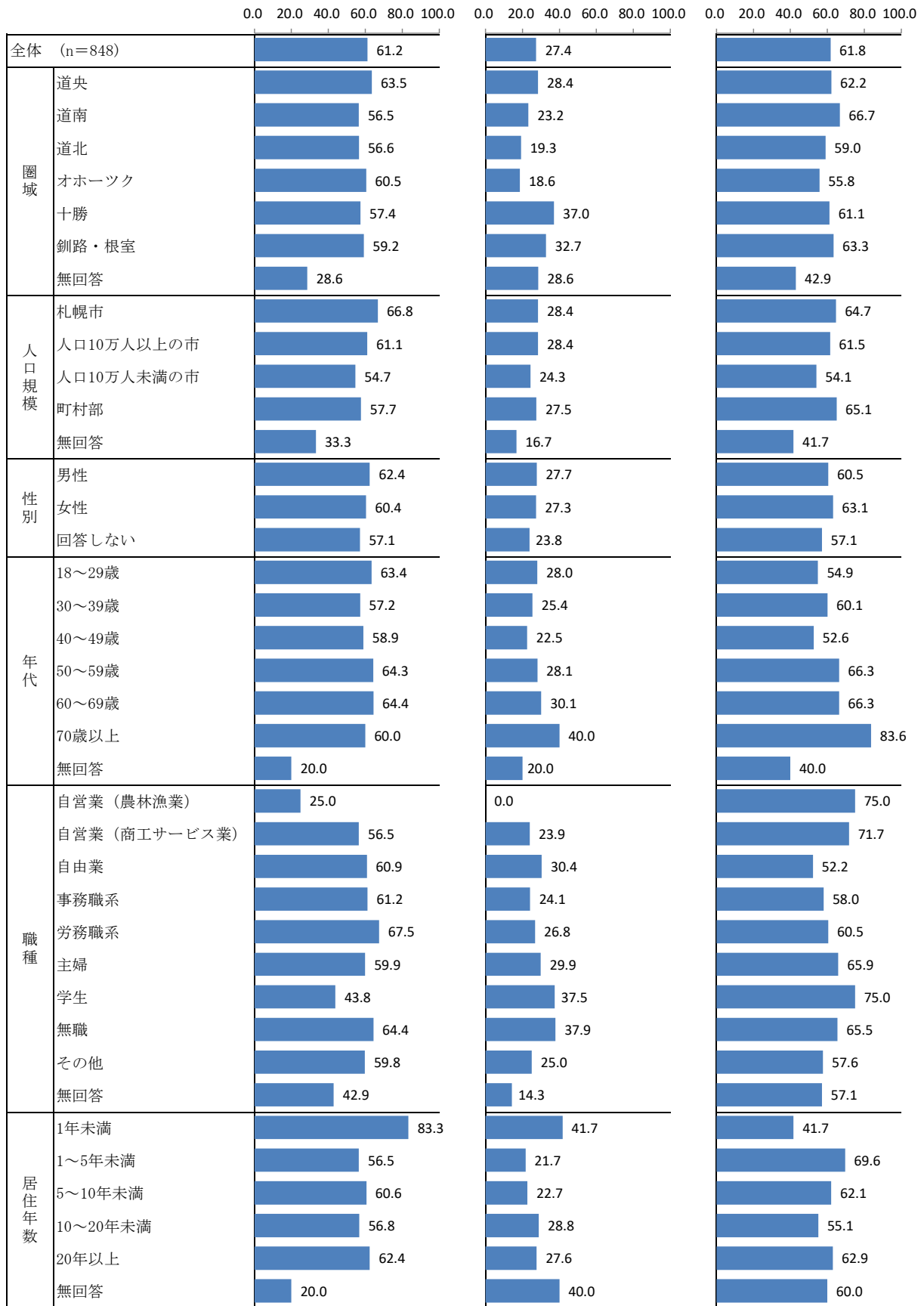
【居住年数別】

「感染してしまった場合の対応方法」については、1年未満(91.7%)が最も割合が高く、次いで20年以上(75.0%)となっている。「相談できる医療機関の情報」については、1～5年未満(69.6%)が最も割合が高く、次いで20年以上(62.9%)となっている。

感染防止に関する情報

感染症対策を実施している施設
や店舗の情報

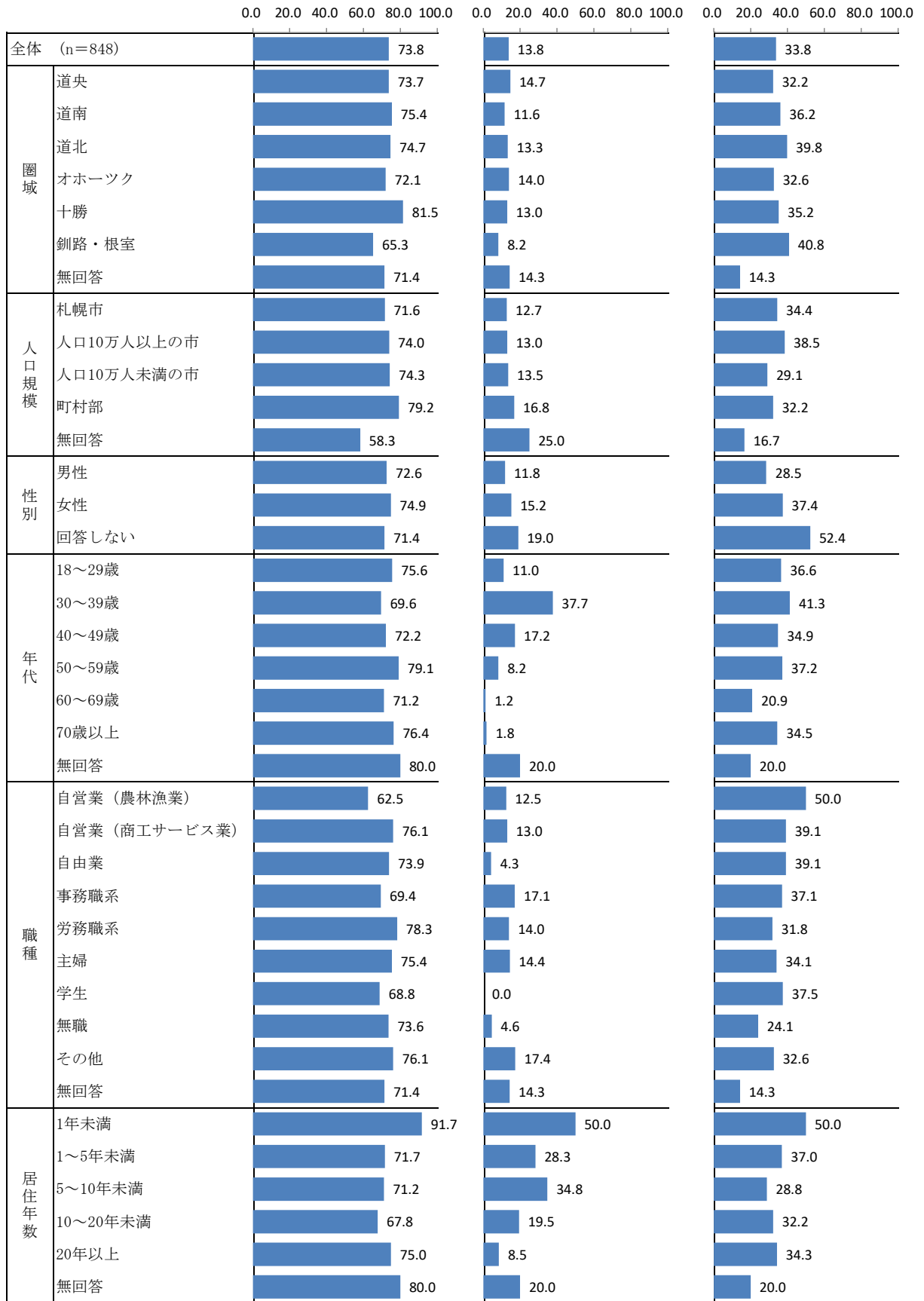
相談できる医療機関の情報



感染してしまった場合の対応方法

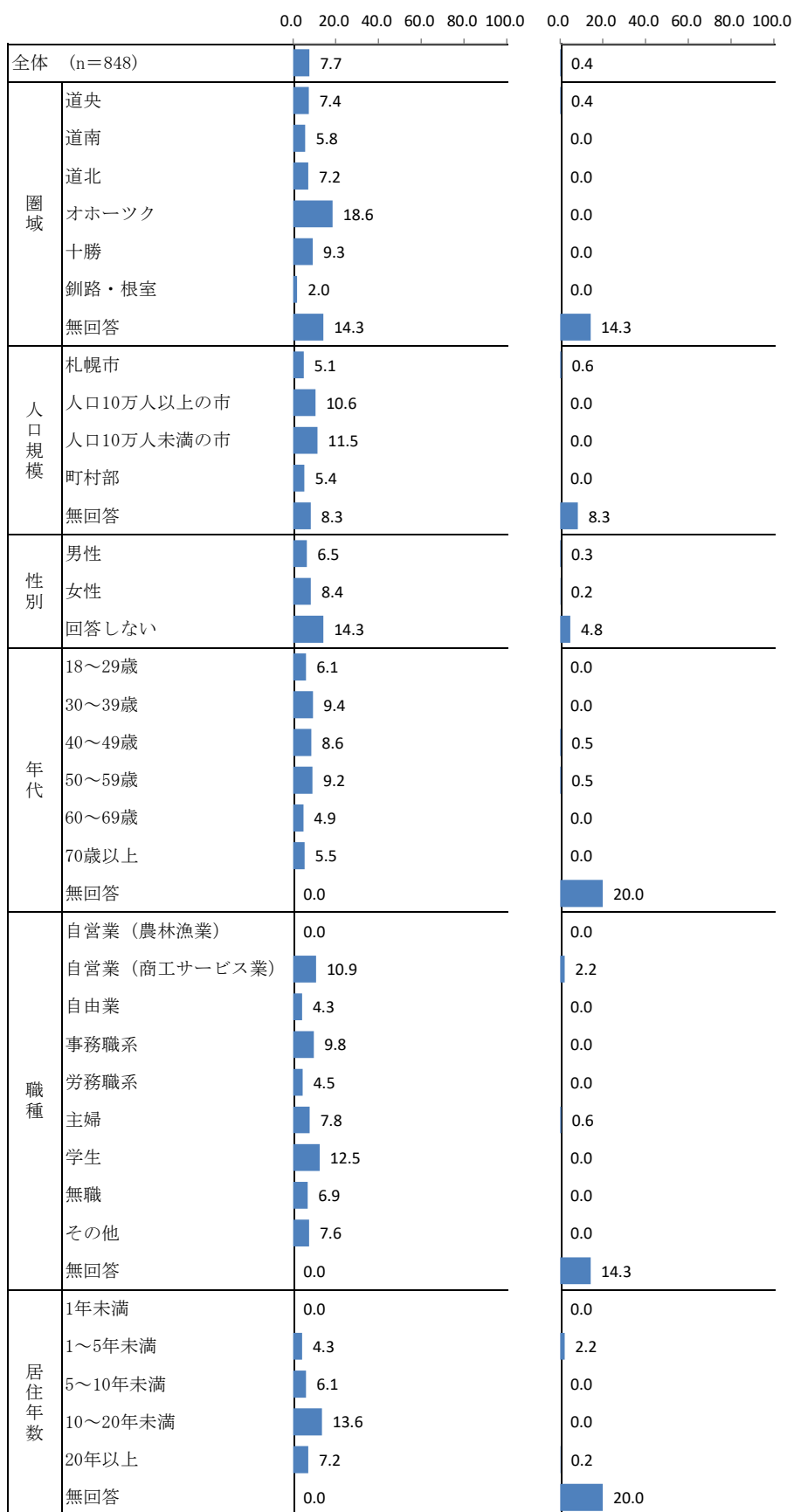
感染時に子どもを預かってくれる施設等の情報

各種支援に関する情報

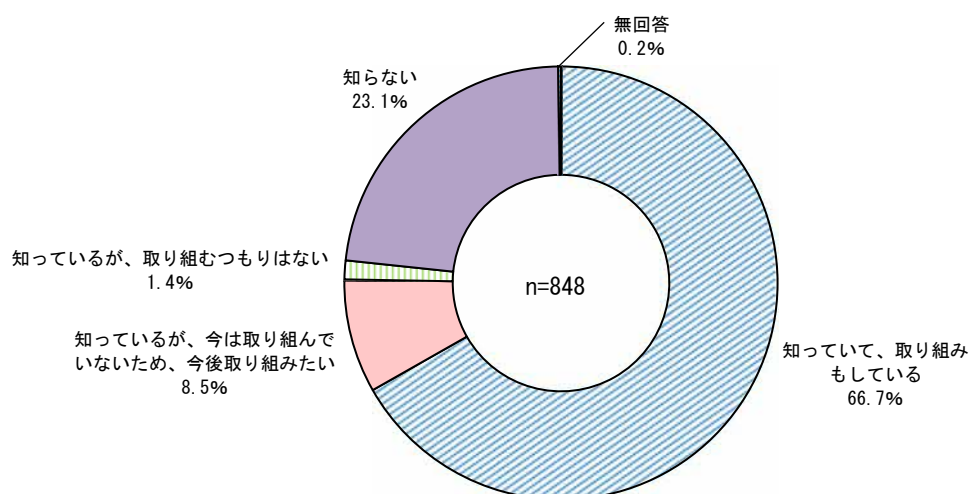


その他

無回答



問3 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて、道では、「北海道スタイル」の普及に取り組んでいます。あなたは、「北海道スタイル」を知っていますか。
次の中から一つだけお選びください。



【全体】

「知っている、取り組みもしている」(66.7%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「知らない」(23.1%)、「知っているが、今は取り組んでいないため、今後取り組みたい」(8.5%)の順となっている。

【圏域別】

「知っている、取り組みもしている」については、十勝連携地域(72.2%)が最も割合が高く、次いで道北連携地域(69.9%)となっている。「知らない」については、釧路・根室連携地域(34.7%)が最も割合が高く、次いでオホーツク連携地域(27.9%)となっている。

【人口規模別】

「知っている、取り組みもしている」については、札幌市(69.8%)が最も割合が高く、次いで人口10万人未満の市(68.2%)となっている。「知らない」については、人口10万人以上の市(26.0%)が最も割合が高く、次いで町村部(23.5%)となっている。

【性別】

「知っている、取り組みもしている」については、男性63.4%、女性69.7%となっており、「知らない」については、男性25.0%、女性21.5%となっている。

【年代別】

「知っている、取り組みもしている」については、60～69歳(76.7%)が最も割合が高く、次いで50～59歳(75.0%)となっている。「知らない」については、18～29歳(34.1%)が最も割合が高く、次いで30～39歳(32.6%)となっている。

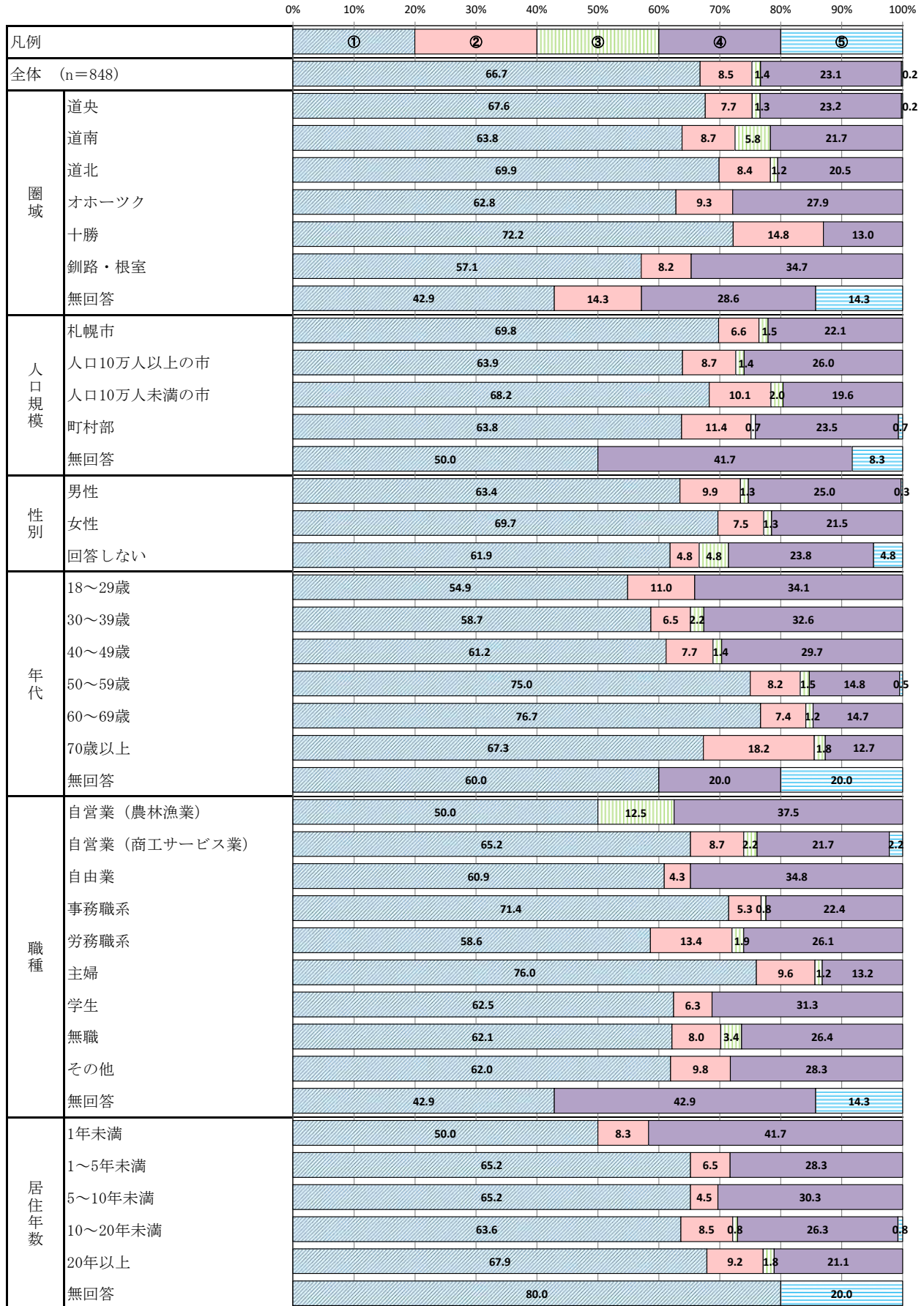
【職種別】

「知っている、取り組みもしている」については、主婦(76.0%)が最も割合が高く、次いで事務職系(71.4%)となっている。「知らない」については、自由業(34.8%)が最も割合が高く、次いで学生(31.3%)となっている。

【居住年数別】

「知っている、取り組みもしている」については、20年以上(67.9%)が最も割合が高く、次いで1～5年未満と5～10年未満が同率(65.2%)となっている。「知らない」については、1年未満(41.7%)が最も割合が高く、次いで5～10年未満(30.3%)となっている。

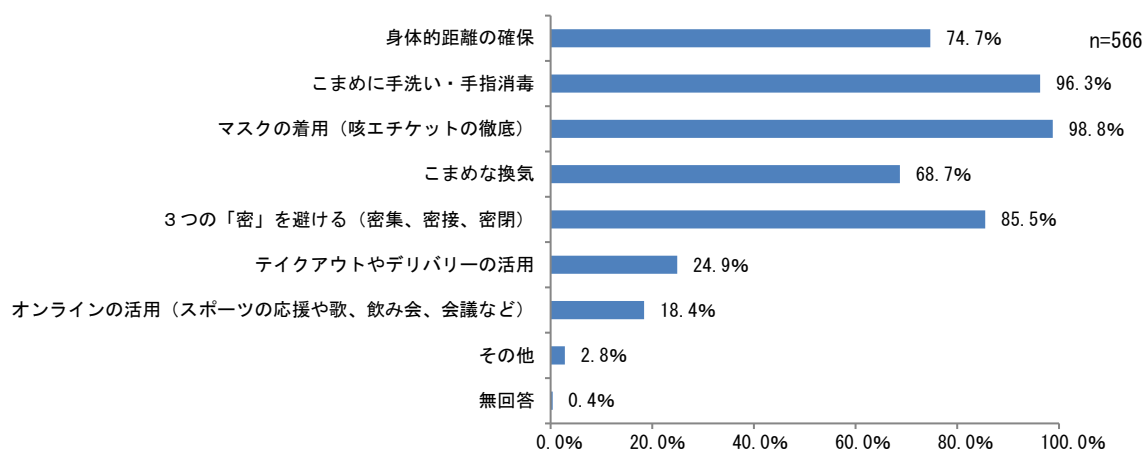
①知っている、取り組みもしている ②知っているが、今は取り組んでいないため、今後取り組みたい
 ③知っているが、取り組むつもりはない ④知らない ⑤無回答



問4 問3で1を選んだ方に伺います。

「北海道スタイル」の取り組みとして、あなたはどの取り組みをしていますか。

次の中からいくつでもお選びください。



【全体】

「マスクの着用（咳エチケットの徹底）」（98.8%）と答えた方の割合が最も高く、次いで「こまめに手洗い・手指消毒」（96.3%）、「3つの「密」を避ける（密集、密接、密閉）」（85.5%）の順となっている。

【圏域別】

「マスクの着用（咳エチケットの徹底）」については、道北連携地域、オホーツク連携地域、十勝連携地域、釧路・根室連携地域の4地域が同率（100.0%）で最も割合が高く、次いで道央広域連携地域（98.6%）となっている。「こまめに手洗い・手指消毒」については、十勝連携地域と釧路・根室連携地域が同率（100.0%）で最も割合が高く、次いで道北連携地域（98.3%）となっている。

【人口規模別】

「マスクの着用（咳エチケットの徹底）」については、人口10万人以上の市（100.0%）が最も割合が高く、次いで人口10万人未満の市（99.0%）となっている。「こまめに手洗い・手指消毒」については、人口10万人以上の市（98.5%）が最も割合が高く、次いで町村部（96.8%）となっている。

【性別】

「マスクの着用（咳エチケットの徹底）」については、男性97.9%、女性99.7%となっており、「こまめに手洗い・手指消毒」については、男性94.1%、女性98.4%となっている。

【年代別】

「マスクの着用（咳エチケットの徹底）」については、18～29歳と60～69歳が同率（100.0%）で最も割合が高く、次いで50～59歳（99.3%）となっている。「こまめに手洗い・手指消毒」については、60～69歳（98.4%）が最も割合が高く、次いで18～29歳（97.8%）となっている。

【職種別】

「マスクの着用（咳エチケットの徹底）」については、自営業（商工サービス業）、主婦、学生、その他が同率（100.0%）で最も割合が高く、次いで事務職系（98.3%）となっている。「こまめに手洗い・手指消毒」については、自営業（商工サービス業）と学生及びその他が同率（100.0%）で最も割合が高く、次いで無職（98.1%）となっている。

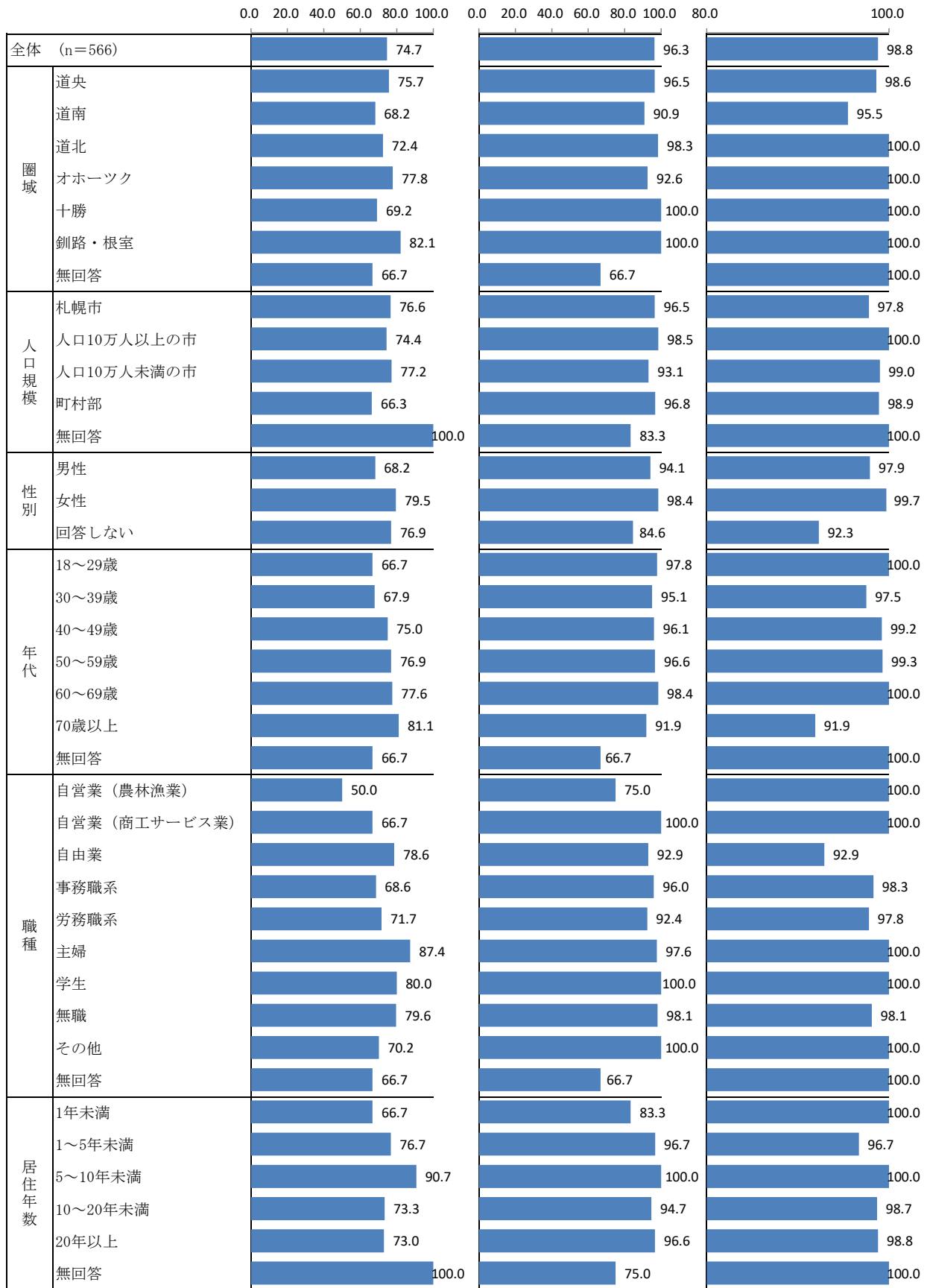
【居住年数別】

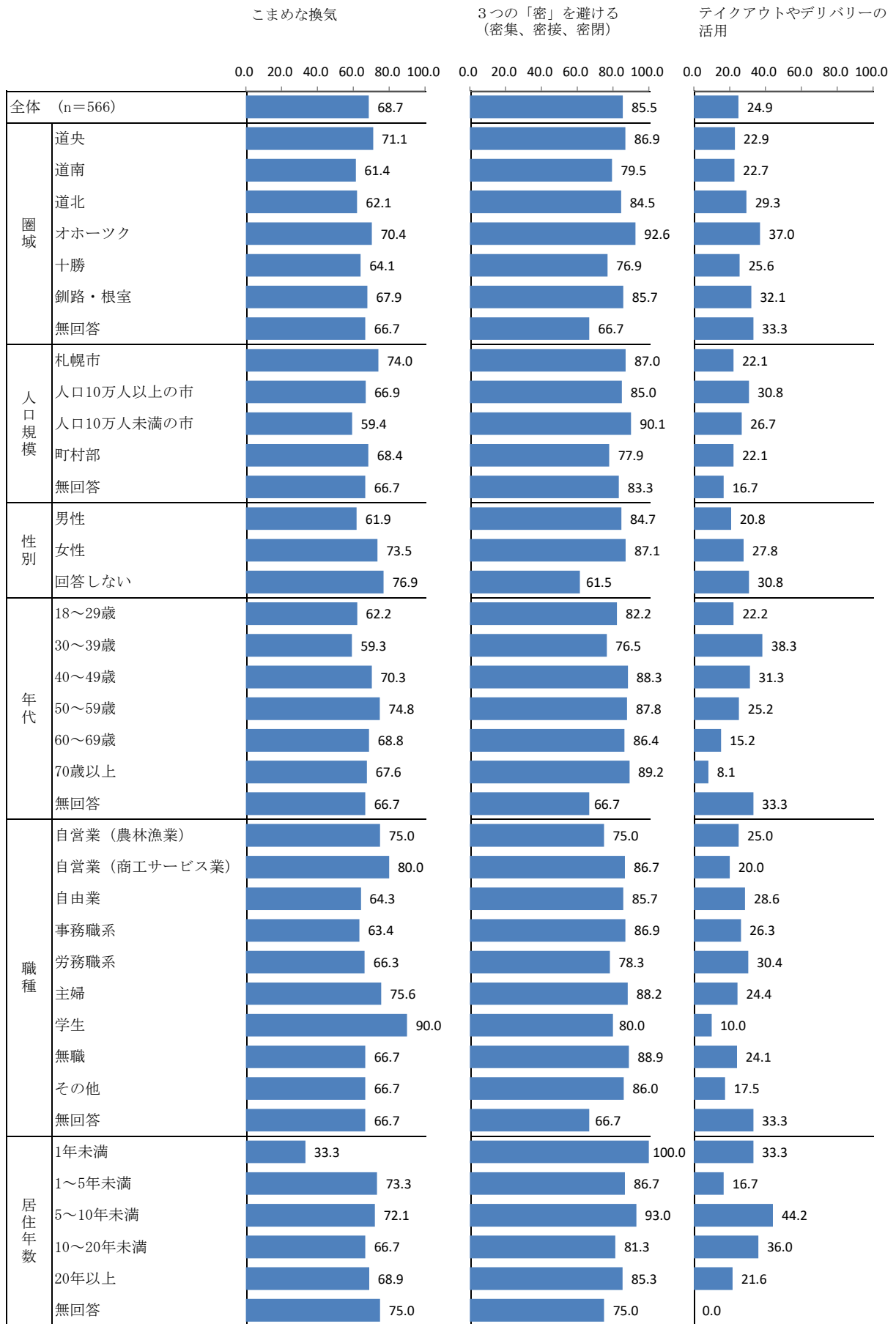
「マスクの着用（咳エチケットの徹底）」については、1年未満と5～10年未満が同率（100.0%）で最も割合が高く、次いで20年以上（98.8%）となっている。「こまめに手洗い・手指消毒」については、5～10年未満（100.0%）が最も割合が高く、次いで1～5年未満（96.7%）となっている。

身体的距離の確保

こまめに手洗い・手指消毒

マスクの着用
(咳エチケットの徹底)

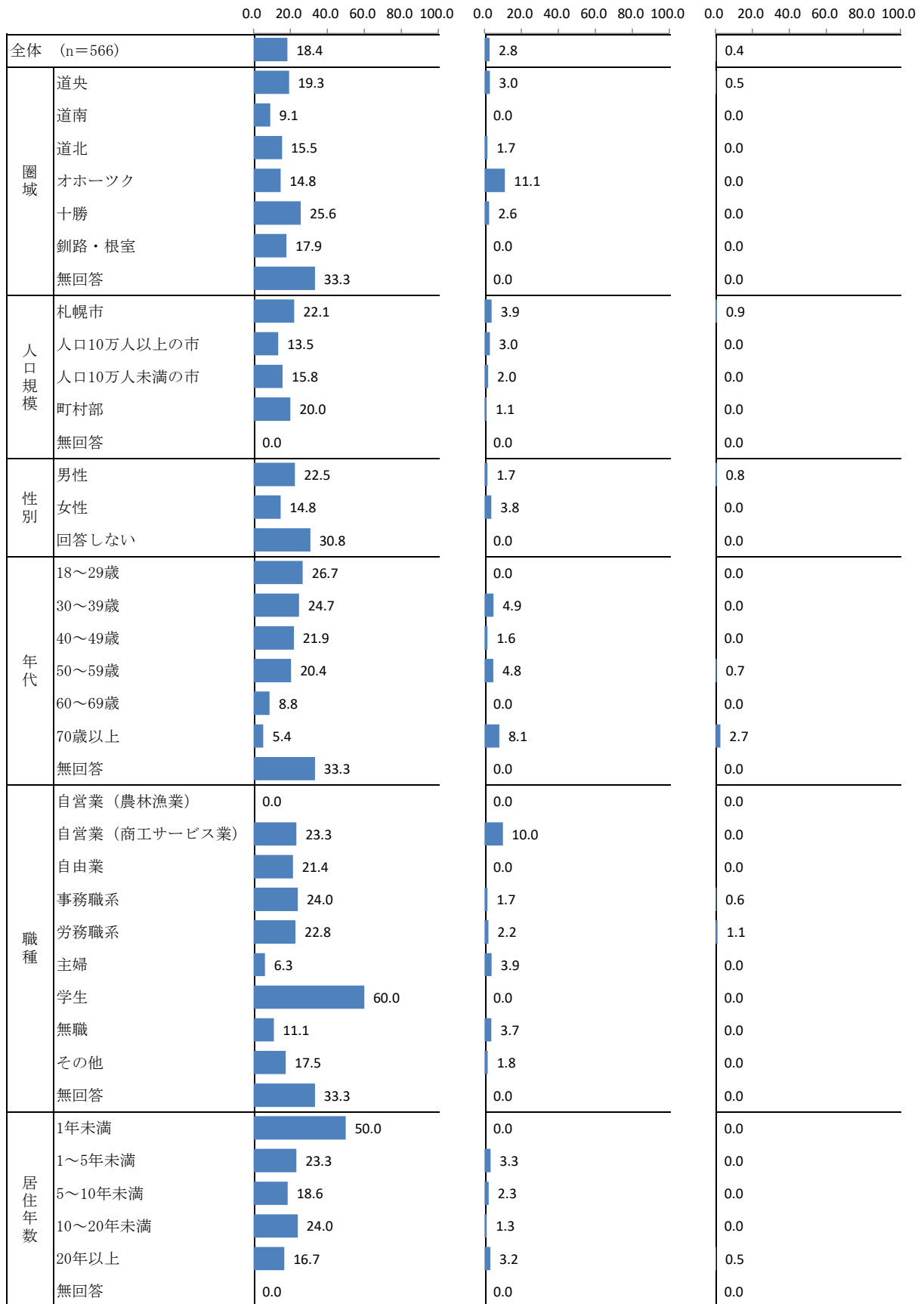




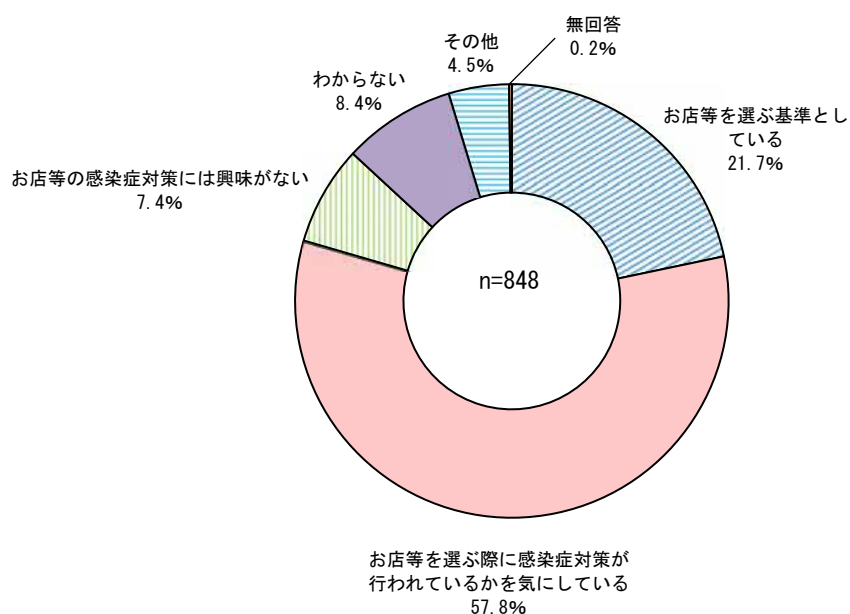
オンラインの活用（スポーツの
応援や歌、飲み会、会議など）

その他

無回答



問5 あなたが飲食店や小売店、施設を選ぶ際に、そのお店等で感染症対策が実施されていることが、お店等を選ぶ基準となっていますか。
次の中から一つだけお選びください。



【全体】

「お店等を選ぶ際に感染症対策が行われているかを気にしている」(57.8%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「お店等を選ぶ基準としている」(21.7%)、「わからない」(8.4%)の順となっている。

【圏域別】

「お店等を選ぶ際に感染症対策が行われているかを気にしている」については、道央広域連携地域と十勝連携地域が同率(59.3%)で最も割合が高く、次いで釧路・根室連携地域(57.1%)となっている。「お店等を選ぶ基準としている」については、オホーツク連携地域(30.2%)が最も割合が高く、次いで道南連携地域(27.5%)となっている。

【人口規模別】

「お店等を選ぶ際に感染症対策が行われているかを気にしている」については、人口10万人以上の市(59.1%)が最も割合が高く、次いで札幌市(58.9%)となっている。「お店等を選ぶ基準としている」については、人口10万人以上の市(23.1%)が最も割合が高く、次いで人口10万人未満の市(23.0%)となっている。

【性別】

「お店等を選ぶ際に感染症対策が行われているかを気にしている」については、男性59.1%、女性56.7%となっており、「お店等を選ぶ基準としている」については、男性21.0%、女性22.9%となっている。

【年代別】

「お店等を選ぶ際に感染症対策が行われているかを気にしている」については、60～69歳(63.8%)が最も割合が高く、次いで50～59歳(59.2%)となっている。「お店等を選ぶ基準としている」については、70歳以上(30.9%)が最も割合が高く、次いで60～69歳(27.0%)となっている。

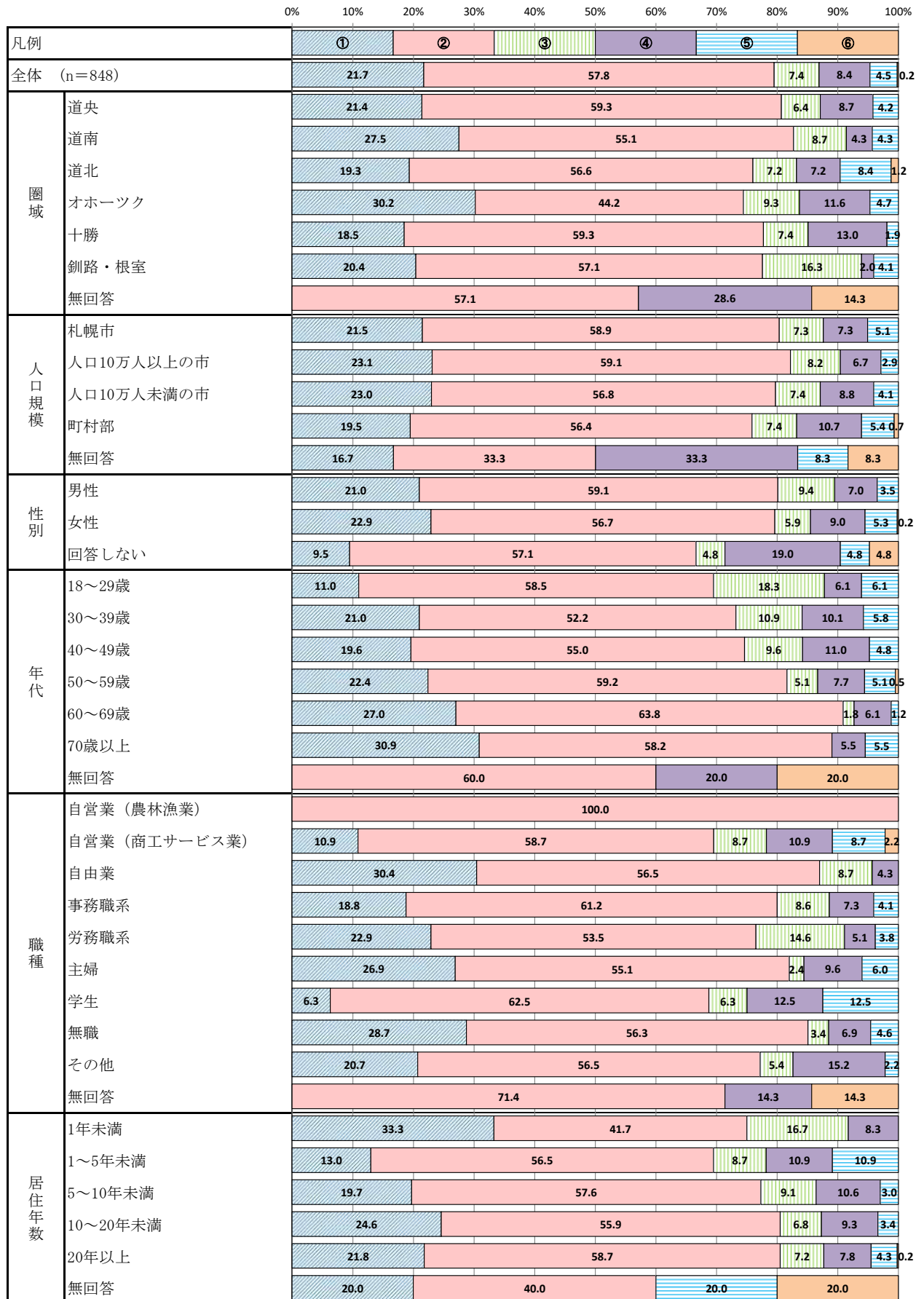
【職種別】

「お店等を選ぶ際に感染症対策が行われているかを気にしている」については、学生（62.5%）が最も割合が高く、次いで事務職系（61.2%）となっている。「お店等を選ぶ基準としている」については、自由業（30.4%）が最も割合が高く、次いで無職（28.7%）となっている。

【居住年数別】

「お店等を選ぶ際に感染症対策が行われているかを気にしている」については、20年以上（58.7%）が最も割合が高く、次いで5～10年未満（57.6%）となっている。「お店等を選ぶ基準としている」については、1年未満（33.3%）が最も割合が高く、次いで10～20年未満（24.6%）となっている。

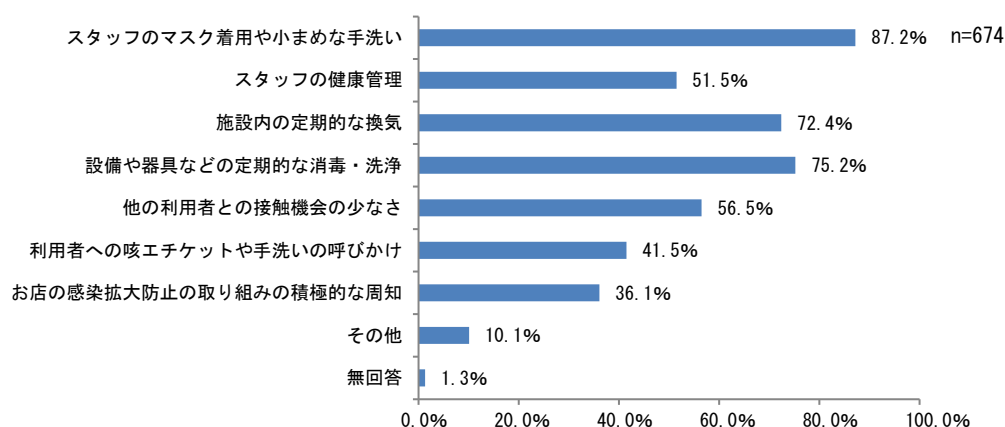
①お店等を選ぶ基準としている ②お店等を選ぶ際に感染症対策が行われているかを気にしている
 ③お店等の感染症対策には興味がない ④わからない ⑤その他 ⑥無回答



問6 問5で1と2を選んだ方に伺います。

お店等で実施する感染症対策として、どの取り組みを重視しますか。

次の中からいくつでもお選びください。



【全体】

「スタッフのマスク着用や小まめな手洗い」（87.2%）と答えた方の割合が最も高く、次いで「設備や器具などの定期的な消毒・洗浄」（75.2%）、「施設内の定期的な換気」（72.4%）の順となっている。

【圏域別】

「スタッフのマスク着用や小まめな手洗い」については、道北連携地域（92.1%）が最も割合が高く、次いで釧路・根室連携地域（89.5%）となっている。「設備や器具などの定期的な消毒・洗浄」については、道央広域連携地域（78.3%）が最も割合が高く、次いで十勝連携地域（76.2%）となっている。

【人口規模別】

「スタッフのマスク着用や小まめな手洗い」については、人口10万人以上の市（87.7%）が最も割合が高く、次いで札幌市と町村部が同率（87.6%）となっている。「設備や器具などの定期的な消毒・洗浄」については、札幌市（78.9%）が最も割合が高く、次いで人口10万人未満の市（77.1%）となっている。

【性別】

「スタッフのマスク着用や小まめな手洗い」については、男性83.9%、女性89.8%となっており、「設備や器具などの定期的な消毒・洗浄」については、男性71.1%、女性78.2%となっている。

【年代別】

「スタッフのマスク着用や小まめな手洗い」については、50～59歳（91.9%）が最も割合が高く、次いで60～69歳（87.8%）となっている。「設備や器具などの定期的な消毒・洗浄」については、30～39歳（83.2%）が最も割合が高く、次いで40～49歳（76.9%）となっている。

【職種別】

「スタッフのマスク着用や小まめな手洗い」については、学生（100.0%）が最も割合が高く、次いで主婦（93.4%）となっている。「設備や器具などの定期的な消毒・洗浄」については、主婦（81.0%）が最も割合が高く、次いでその他（80.3%）となっている。

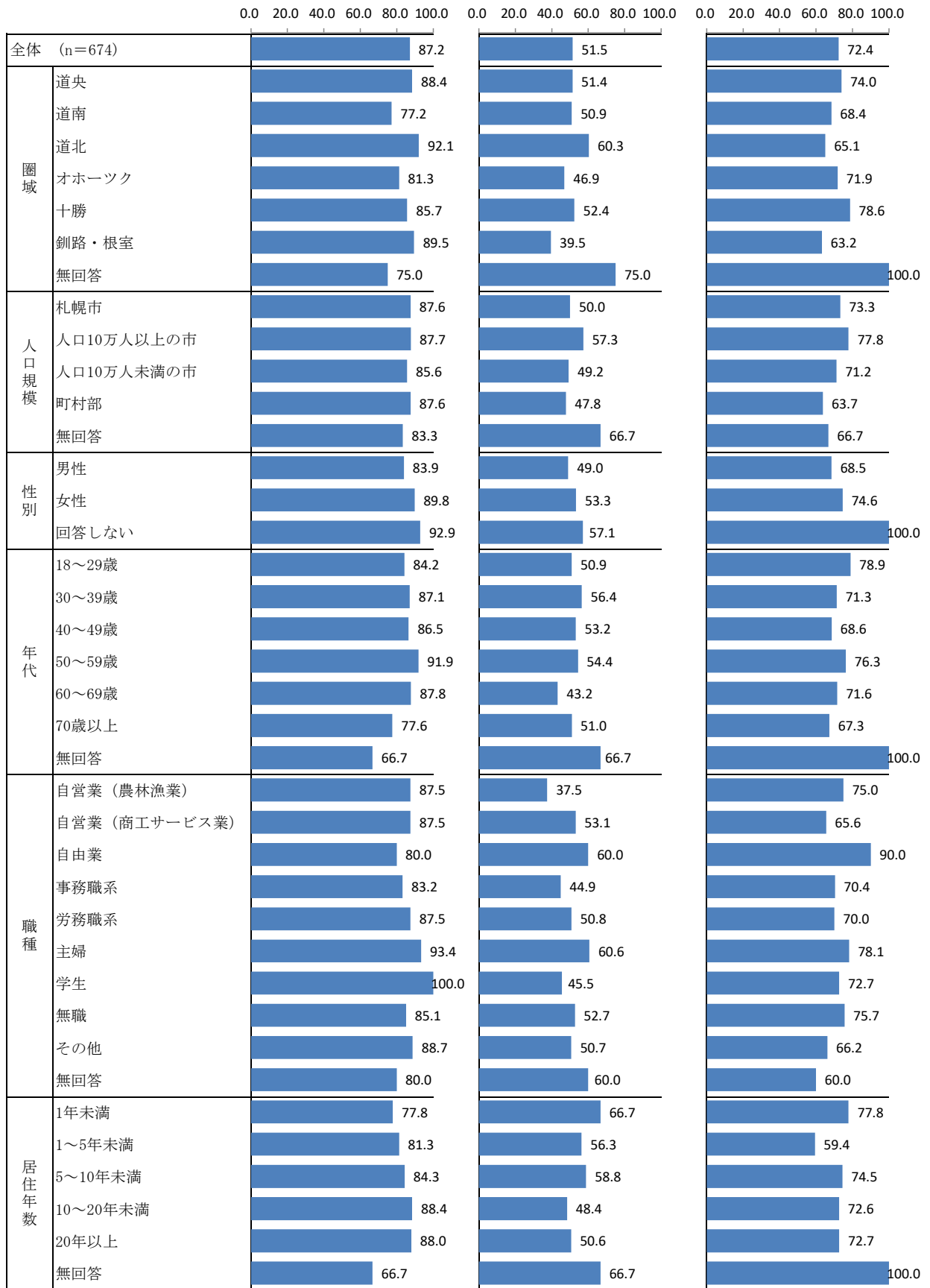
【居住年数別】

「スタッフのマスク着用や小まめな手洗い」については、10～20年未満（88.4%）が最も割合が高く、次いで20年以上（88.0%）となっている。「設備や器具などの定期的な消毒・洗浄」については、1～5年未満（81.3%）が最も割合が高く、次いで10～20年未満（81.1%）となっている。

スタッフのマスク着用や小まめな手洗い

スタッフの健康管理

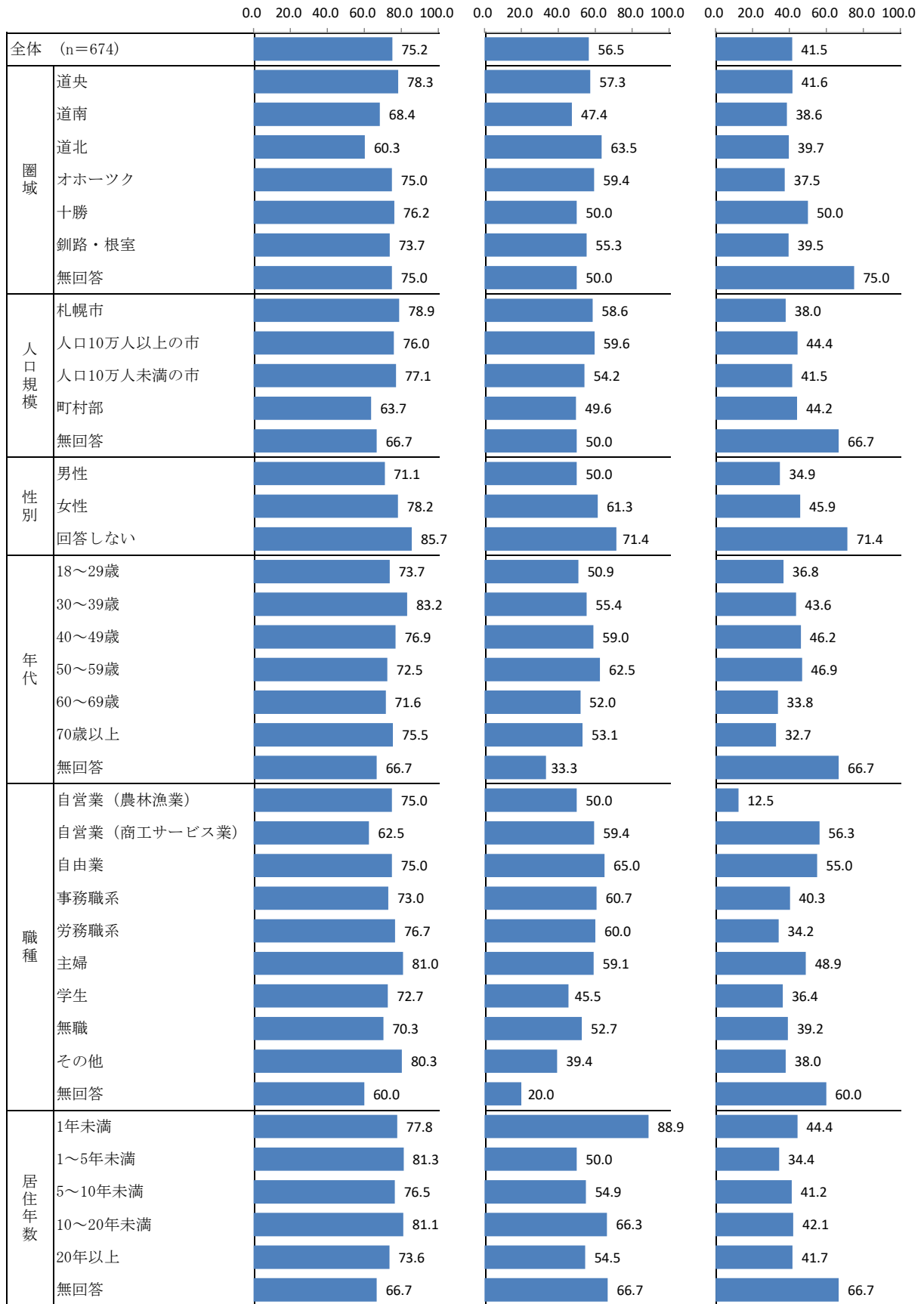
施設内の定期的な換気



設備や器具などの定期的な消毒・洗浄

他の利用者との接触機会の少なさ

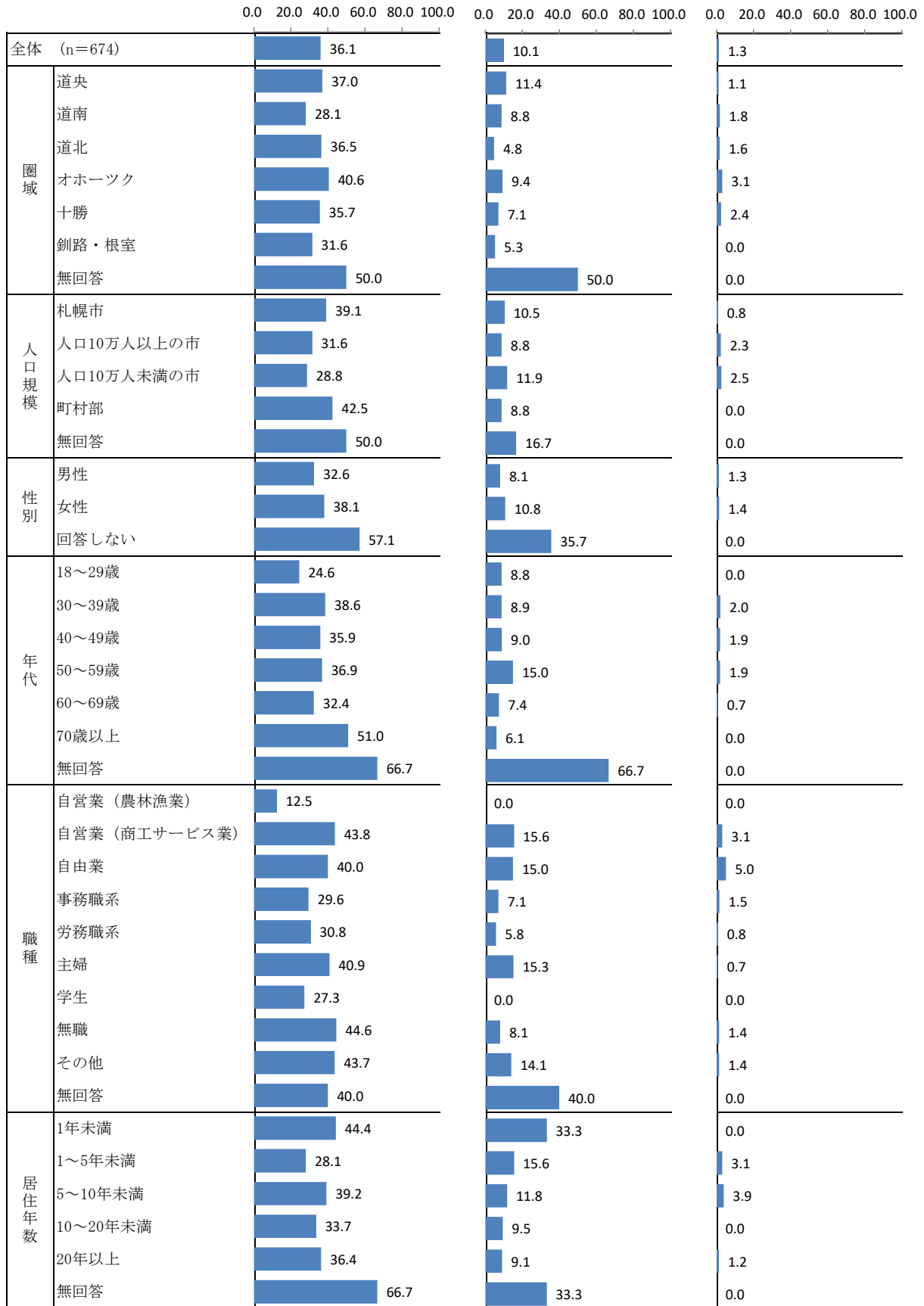
利用者への咳エチケットや手洗いの呼びかけ



お店の感染拡大防止の取り組み
の積極的な周知

その他

無回答



「新型コロナウイルス感染症について」の調査を終えて

情報の収集方法としては、テレビからと回答された方が9割を超えているほか、インターネットや新聞など様々な媒体から活用されている。

必要な情報としては、「感染してしまった場合の対応方法」、「相談できる医療機関の情報」、「感染防止に関する情報」の3項目が多く、感染した場合の対応及び感染防止についての関心の高さがうかがえる。

こうした調査結果を踏まえ、必要な情報について適時適切な発信を行っていく。

また、「北海道スタイル」について、「知っていて、取り組みもしている」(66.7%)と「知っているが、今は取り組んでいないため、今後取り組みたい」(8.5%)をあわせると7割以上となっており、「北海道スタイル」の理解が進んでいることがうかがえる。

「北海道スタイル」のうち、実践している取り組みとしては、多いものから、「マスクの着用(咳エチケットの徹底)」(98.8%)、「こまめに手洗い・手指消毒」(96.3%)、「3つの「密」を避ける(密集、密接、密閉)」(85.5%)となっている。

飲食店や小売店、施設が実践している感染症対策について、「お店等を選ぶ基準としている」(21.7%)との回答は約2割にとどまるものの、「お店等を選ぶ際に感染症対策が行われているかを気にしている」(57.8%)をあわせると8割近くとなり、また、お店の感染症対策のうち重視するものとしては、「スタッフのマスク着用や小まめな手洗い」(87.2%)が最も多く、次いで「設備や器具などの定期的な消毒・洗浄」(75.2%)、「施設内の定期的な換気」(72.4%)となっている。

新型コロナウイルス感染症の影響の収束が見通せない中、こうした調査結果を踏まえながら、感染拡大防止と経済活動の両立に向けた課題の把握と解決に努め、道民の皆様や事業者の方々のご理解とご協力のもと、「北海道スタイル」の一層の普及・浸透を図り、コロナに強い社会の構築に取り組んでいく。

(新型コロナウイルス感染症対策本部指揮室)

(経済部経済企画局経済企画課)